

第73回品質保証検討会 議事録

1. 開催日時：2025年10月29日（水）13時30分～16時00分
2. 開催場所：一般社団法人 日本電気協会 4階 C会議室（Web併用会議）
3. 出席者：（敬称略，順不同）
出席委員：竹田副主査(関西電力)，小谷(三菱重工業)，砂田(IHI)
中村(東芝エネルギーシステムズ)，笠(日立GEヘルバニュークリアエナジー)，殿村(三菱電機)，
新田(富士電機)，奈良(北海道電力)，大西(四国電力)，
門田(中国電力)，東山(東北電力)，鈴木直(中部電力)，道下(北陸電力)，
梶谷(日本原子力発電)，小園(東京電力HD)，小林(電源開発)，加茂(九州電力)，
服部(三菱原子燃料)，亀岡(日本原燃)，柿木(原子燃料工業)，
岩本(グローバル・ニュークリア・フュエル・ジャパン)，高橋(日本原子力研究開発機構)，
田上(原子力安全推進協会)，鈴木哲(元中部電力) (計 24名)
代理出席者：なし (計 0名)
(小計24名)
常時参加者：植田(東芝エネルギーシステムズ)，首藤(元電源開発)，田島(原燃輸送)，
早瀬(電力中央研究所)，坂本(原燃輸送)，
杉村(日立GEヘルバニュークリアエナジー) (計 7名)
欠席委員：西田主査(東京電力HD)，中條(リサイクル燃料貯蔵) (計 2名)
オブザーバ：なし (計 0名)
説明者：清水野(北海道電力)，宮下(中部電力) (計 2名)
事務局：浅見，上野（日本電気協会） (計 2名)
(出席者合計 38名)

4. 配付資料：別紙参照

5. 議事

事務局より，本会にて，私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律及び諸外国の競争法に抵触する行為を行わないことを確認後，竹田副主査の開催挨拶があり，その後議事が進められた。

- (1) 名簿の確認，委員の変更，常時参加者の追加，代理出席者，常時参加者，委員定足数，配付資料の確認

事務局より，資料No.73(1)1に基づき，下記委員の変更があり，新委員候補については，分科会規約第13条(検討会)第4項に基づき次回品質保証分科会で承認予定であるとの紹介があった。

- ・ 退任 奈良委員(北海道電力)
- ・ 退任 鈴木_直委員 (中部電力)
- ・ 新委員候補 清水野 氏 (同左)
- ・ 新委員候補 宮下 氏 (同左)

現時点での委員の出席者数は代理出席者も含めて24名であり、分科会規約第13条(検討会)第15項での議案決議に必要な出席数(委員の3分の2以上)を満たしていることが確認された。その後説明者2名の紹介があった。

常時参加者の異動として下記2名の紹介があり、常時参加者として分科会規約第13条(検討会)第8項に基づき、検討会の承認を举手及びWebの挙手機能にて決議の結果、出席委員の5分の4以上の賛成で承認された。

- ・ 退任 九州電力 船津 様
- ・ 退任 原燃輸送 金 様 → 新常時参加者 坂本晶義(さかもと あきよし)様
- ・ 新常時参加者 日立GEヘルバニュークリアエナジー 杉村諒(すぎむら まこと)様

出席新委員及び新常時参加者から挨拶があった。

また、資料No.73(1)2の品質保証検討会体制表の変更について事務局より説明があった。

- ・ 現在、西田主査が参加できていない。この体制表の管理は主査が行うと言われていたので更新していなかったが、事務局に連絡を頂いているところについては周知を目的として更新を掛けた。
- ・ 今回、検討会委員をご退任される北海道電力奈良委員と中部電力鈴木_直委員は4-6章サブリーダー、8章のリーダーであります。後任の清水野氏はそのまま4-6章チームになりますが、宮下氏は4-6章チームを希望されているので、4-6章チームに入っただけ。8章のリーダーはサブリーダーの大西委員が担っていただき、それぞれ空位となったサブリーダーについて、次回全体サブチーム会合までにチーム内で決定していただきたい。
- ・ 前回、普及・促進チームの総括リーダー、総括サブリーダー、専門コースリーダーとサブリーダーが不在であったが、総括リーダーは電源開発 小林委員、総括サブリーダーは東北電力 東山委員、専門コースリーダーは三菱重工 小谷委員、専門コースサブリーダーは中国電力 門田委員に決まった。

主な意見・コメント

- ・ 全体サブチームに北海道電力と中部電力の名前が無いので追加していただきたい。
- 拝承

資料については投稿システムにて配信されているため、確認を割愛する。

(2) 前回議事録の確認(審議)

事務局より、資料No.73(2)1に基づき、前回議事録の紹介があり、正式議事録にすることについて、分科会規約第13条(検討会)第15項に基づき、举手及びWebの挙手機能にて決議の

結果，出席委員の5分の4以上の賛成で承認された。

主な意見・コメント

- ・ 実施日の月の表記が06月となっているが，6月に修正願う。
- 拝承

(3) 第72回品質保証検討会以降の状況報告(報告)

事務局より，資料No.73(3) シリーズに基づき，第72回品質保証検討会以降の状況について報告があった。

主な意見・コメント

- ・ 規格類協議会でステイトメント改定の議論が行われている様であるが，ステイトメントは委員のインセンティブに係ることからある程度形になったら，共有していただきたい。ATENAとJANSIの作成するガイドと我々の規格との棲み分けについても議事録に記載があった。
- ・ 基本方針タスクでは倫理規定の議論があったが，委員への普及活動をするるとよいとの意見があった。
- ・ 運転・保守分科会とはJEAC4209の改定案について2回打ち合わせを行ったが，第95回原子力規格委員会において品質保証分科会から意見を述べ，納得できていないところは今後も継続調整することになっている。
- ステイトメントについては起草の段階であり，ある程度形になったら共有させていただく。
- ・ ATENA関係でNRAとの面談の話をしておりましたが，至近では9月18日でその前が昨年の11月13日にCAPについての意見交換を行っている。
面談記録はNRAのHPにあるので，閲覧可能。電事連の品質保証検討委員会主査にも品質保証分科会側とのコミュニケーションを図るように伝えておく。

(4) 2025年度JEAC4111専門コース講習会実施について(審議)

小林普及・促進チームリーダーより，資料No.73(4)シリーズに基づき，2025年度JEAC4111専門コース講習会の実施について説明があった。

審議の結果，特に異論がなかったので，資料No.73(4)1：2025年度_専門コース講習会の開催案内(案)を品質保証分科会に上程するかについて，分科会規約第13条(検討会)第15項に基づき，挙手及びWebの挙手機能により決議の結果，出席委員の5分の4以上の賛成で承認された。

主な意見・コメント

- ・ 定員が36名となっているが，これは募集をかけて36名になった段階で締め切るのか多少の追加は許容されるのかどちらか？
- 実際にどの程度応募していただけるのかは予測がつかないが，1テーブルに対し，モニター，PC，インストラクターが，必要となることから6テーブルは固定している。

- 各テーブル6名を考えているが、1名程度の追加は許容できる。
- 余り人が多くなると作業・演習に影響が出る懸念があるため質問した。
 - 応募が多かった場合は、テーブル数を増やすことは厳しいが、各テーブル1名程度の追加は許容される。しかし、1名までとした方が良いと考える。
 - 案内には応募者が多数の場合は調整させていただく旨記載する。
 - ・ 対象者は事業者だけではないことを確認する。案内の書き方をみていると事業者のみのように取られるので、メーカーさんなどの方々にも従来通り、参加いただけるように記載を調整願いたい。
 - 案内の記載については調整させていただく。
 - ・ 事前学習は、具体的な実施事項を記載願いたい。
 - あまり、具体的な内容までは書けないが、実施事項を明確に修正する。
 - ・ HTOとかシステムミックとかいう言葉は、募集に際し一般にも分かりやすい言葉に修正すべきである。
 - 一般にわかる言葉に修正を行う。

(5) 技術資料（品管規則対照表）の作成状況について

竹田副主査から資料No.73(5)シリーズについて説明があった。

副主査の説明

- ・ 前書き、0-3章、7章、8章の技術資料が全体サブチーム会合で精査され、特にいわゆる「前書き」の文章と0-3章についてはかなり時間を費やして意見交換が行われている。
- ・ 7章、8章については10月24日の全体サブチーム会合で記載内容を精査し、すでに見直しとコメント反映に入っている状況である。

主な意見

- ・ これを今年度中に分科会へ上程することを考えると、スケジュール的に11月の分科会で確認してもらって、意見収集を行わなければ、厳しいと考える。
- 次回の分科会にご確認いただくとするとスケジュール的に厳しいが、11月7日までに10月24日の全体サブチームにおけるコメント反映と他章との見比べなどを完了し事務局に提出いただき、事務局より相互レビュー依頼を11月18日期限で行い、次回11月21日の全体サブチーム会合で確認して分科会に意見募集を行う。相互レビューは4-6章を7章チーム、7章を8章チーム、8章を4-6章チームで行う。
- ・ 前書きの部分については、本日の提示している版は8月27日版であるが、その時に出たコメントが反映されていない。そこは、全体サブチームで議事録にある範囲で修正を行う必要がある。これについては、全体サブチームの鈴木哲也委員、竹田委員ならびに首藤常時参加者で、過去のコメント反映とレビューを行う。

(6) JEAC4111実務コース講習会実施状況と次年度計画について

小林普及・促進チームリーダーより、資料No.73(6)1に基づき、2025年度JEAC4111実務

コース講習会の実施状況について説明があった。

小林普及・促進チームリーダーからの説明

- ・ JEAC4111実務コース講習会については今月末まで開催されているが、10月6日に実施したウェビナーによるライブ配信についての報告が行われた。
- ・ ウェビナーには100名近い受講者がアクセスされ、その半数は電力事業者であった。
- ・ 総括パートは、約3時間で連続したアクセスが確認されている。(途中休憩中も切断する人もほぼなし。) 招待者を含む94名中77名が80%以上視聴された。
- ・ 今年度の申込者数は134名(前年132名)で昨年よりも2名増。
- ・ 詳細報告は次回検討会で行う予定。

次年度計画について

事務局より、資料No.73(6)2, 3に基づき、次年度計画の策定準備について紹介があった。

- ・ 2026年度の活動計画として2025年度の実績を基に修正を行う必要がある。(今年の実績は事務局で一部記載済み)
- ・ JEAG4121については、昨年度は記載がなかったが、NUSCの前のタスクで廃止していない以上、活動計画が無くても記載するべきであるとコメントをもらって追加している。廃止手続きは検討会から上程、分科会審議・NUSC上程が必要。
- ・ 活動計画は、検討会、分科会で承認後、基本方針タスク、NUSCで承認されてホームページで公開されるものである。
- ・ 本日は策定について、年度末に作業が入ることを認識いただくことを念頭に紹介している。

主な意見・コメント

- ・ 活動計画を次回分科会に諮るということか。
→ 年度末に願う内容が多いので、ご認識いただくために紹介した。
- ・ JEAG4121の記載を復活したのはなぜか。
→ JEAG4121の内容は全てJEAC4111と技術資料に入っているため更新の必要もないことから消去していたが、昨年度の基本方針タスクで、廃止していないのであれば計画が無くても入れるべきであるとの指示を受け、記載することとなった。
JEAG4121については規格の販売担当が、掲載内容の無償公開をしているのに販売することは不適切と判断され、技術資料をHPに掲載する前に販売中止及びサブスクリプションからも消去している。

(7) その他

- ・ IAEA DS513についての状況について
北海道電力 奈良委員より、IAEA DS513の策定状況について、ステップ12まで進行しており、近々発行される見込みであることが情報共有された。
12月8日から12日の週に開催される次回CSS会合での状況を確認したい。
資料関係は事務局に送りますので、共有願いたい。

- ・ 技術資料の前書きに関する追加情報
鈴木哲也委員から、2024年12月に日本品質管理学会主催のワークショップで、中條分科会長から品質保証分科会の資料を使った発表があり、検討中の技術資料の前書きに関する内容であることが共有された。三浦幹事もパネル討論に参加している。
- ・ 次回の開催について
次回検討会は1月下旬から2月上旬に年次計画の分科会承認を得るためにも必要である。JEAC4111専門コース講習会を、2月9日・10日に開催する予定であるが、この前に実施できれば良いと考える。
- ・ 北海道電力 奈良委員の退任挨拶
約2年5ヶ月の検討会委員と7年間の分科会委員としての活動に対して感謝の意が述べられた。

以 上

第73回品質保証検討会配付資料

73(0)R	第73回品証検討会 議事次第 r1
73(1)1R	品質保証検討会名簿 R1
73(1)2	2025XXXX 版 r4_品質保証検討会体制表(業種別)R_73 検討会用_事務局修正版
73(2)1	第72回品質保証検討会 議事録 (案)
73(3)1	第72回品質保証検討会以降の状況 (各会議体の議事録等)
73(3)参考 1	第79回原子力関連学協会規格類協議会_議事録
73(3)参考 2	第86回基本方針策定タスク_議事録
73(3)参考 3	第94回原子力規格委員会_議事録
73(3)参考 4	第68回品質保証分科会_議事録 (案)
73(3)参考 5	第80回原子力関連学協会規格類協議会_議事録 (案)
73(3)参考 6	第87回基本方針策定タスク_議事録 (案)
73(3)参考 7	第95回原子力規格委員会_議事録 (案)
73(4)1	2025年度_専門コース講習会の開催案内(案)R3
73(4)2	JEAC4111 普及・促進チーム_2025年度講習会計画_R2
73(5)1	技術資料 (前書き) 0827 向け
73(5)2	技術資料(0-3章)2025 1024 用 (クリヤ版)
73(5)3	4-6章_技術資料①_R2 (0425 コメント+安全文化)
73(5)4	技術資料(7章)20251025
73(5)5	JEAC4111 技術資料 (8章比較表) 分科会用 r5
73(5)6	技術資料化手順 r7 修正版
73(6)1	2025年度 JEAC4111 実務コース講習会ライブ配信アクセス状況 R0
73(6)2	2026年度活動計画(案)品質保証分科会 R0
73(6)3	2025年度各分野の規格策定活動 (案) FIX

以上